

# HAND in HAND

はんど いん はんど

昭 62.10. 2

国立婦人教育会館  
情報図書室

【心にしみる再婚話】

■鳥取の砂丘は有名ですが、砂丘研究所（鳥取大学附属）でメロン栽培をしていることはご存知ですか。この夏、鳥取の山田さんから甘くてしたたるようにおいしい大きなメロンが3個送られてきました。

■8年近く前、離婚相談でわざわざ鳥取から見えたIさんが山田姓になっているのにおやっと思いました。そうしたら再婚したとのこと。そのメロンは彼が作ったものというではありませんか。

■彼女は離婚してからの8年間、働きにも出ていましたが、両親が高齢であること、幼い娘がいることで、この数年はもっぱら主婦業に徹していたそうです。彼は高校時代から砂丘研究に興味を持ち、現在研究所で砂丘農業一筋に朝から晩まで砂まみれという人。二人の父親同士が戦友で、一人ぐらしでろくな食事もしていない息子をよろしくというのがきっかけで、月に1度彼を夕食によんであげるようになったそうです。

■子供と遊ぶのがとても上手な彼を娘はお兄ちゃんと慕い、彼女は外食ばかりの彼の健康が気が気でなくなり、彼のことを考えると眠れない日が続いたのです。

そしてとうとう彼女は手紙で自分の思いを打ちあげました。その返事は彼からのプロポーズ。

■彼の両親、きょうだいに祝福され結婚が決まって小4の娘に報告すると、娘はほっぺをつねり、夢ではないかと喜んでくれたといいます。

「去年の今頃は、まだ弟のような存在であった人が、今私の夫となり、確実に心の大きな支えになっていることに言いようのない幸せをかみしめている」と山田さん。どうぞお幸せに。メロンは「あやかれるように」とみんないただきました。

（円より子）

海を渡る鳥は、波間を漂う流木に憩うという。離婚—それは旅の半ばの一つの出来事。新たな旅立ちをした女たちはいま手をとりあい、女であるがゆえの偏見と差別に向きあう。ハンド・イン・ハンドは生きやすい社会をめざし、支えあう女たちの流木である。

第78号 200円 禁無断転載

【発行日】1987年10月1日

【発行所】現代家族問題研究所  
東京都渋谷区神宮前3-33-2-202  
〒150 電話03(402)7354

【発行・編集人】円より子

【編集スタッフ】

有賀佐知子・塩沢まや

78

# 生き生きと老後を生きる

第七十二回ニコニコ離婚講座(昭和六十一年一月二十五日)  
沖藤典子氏の講演より

離婚を考える時に、子供のこと

は非常に大きな問題になると思うのですが、更には、その後の老後の不安もある気がします。高齢化社会と言われていますが、未来のことは現実にはよくわからないんです。ですから、少しの部分でもいいから、知識を持っていることが、ある種の不安を柔らげる、ないしは、知識を持つことによって、他の知識も増えてくるということもあります。

老後が大事ということで、喫茶店に入っても、コーヒー一杯三〇〇円飲もうか、飲むまいか。三〇〇円を郵便局に持って行って、簡易貯金にした方がいんじゃないだろうかと思ふ。そういうのは、ちょっと考え過ぎではないか。しっかりと明らかな知識を持って、ゆっくりと明るく老後に備えて生きていくように発想を変えた方がいいんじゃないかという考え方を、私はし

ています。

長寿社会を乗り越えるには、経済、健康、生きがい、この三つが必要だと言われています。経済、健康、生きがい、この順序で大事なんじゃないかと思ひます。

ひとつには、年金とか働く収入と含めて、老後資金を若いうちからどう準備しておくか、ということ。私は働き続けること、いつでも働いて、収入を得る力を持っていること、これが一番重要だろうと思ひました。働き続けるということの中には、企業の年金、厚生年金とか、いろいろな形で年金の問題もあります。

職業をお持ちの方は、職業にしがみつくこと。にくたらしい上司とか、なまぬきな同僚がいるのは、世の常ですから、すっぱりあきらめて年金権だけは確保しておくことが大事だと思います。

家庭の奥さんの場合は、四月(昭和六十一年)から、夫の厚生年金の傘の下に入るようになりました。自分ばかりでなくてすんだと大喜びする方もいて、実質的に家計からの支出はなくなります。けれども本当にそれでいいのか。その分は、どこが補てんしているのかというと、働いてかけている女性の掛け金などから回されるわけで、これは女性問題の視点から見ただけに、専業主婦と働く女性の分断が深まるだろうと思ひます。

それから、自分の年金がどのくらい受けとられるかというのは、社会保険庁とか、自分の住んでいる市役所・区役所の年金課へ行けば計算してくれます。ですから、年金をいくらもらえるか、用途をたてておきたいと思われる方は、労を惜しまずに、自分で行って確かめるのがいいと思ひます。

何よりも、経済を一番守るのは、いくつになっても働こうとする、体力と気力だと思ひます。それが一番確実に自分の経済を支えたと私は思っていますし、そのような生き方をしてきました。

◆ 今、体力と気力と言いましたが、

次いで健康の問題です。これは一般的に、健康診断を受けましょうといった雑駁な話になりがちですが、普通私たちの健康は、特別問題もなく、大抵、推移していくでしょう。けれども、終末になって、必ず健康を害する時がやってきます。それは、どんなに注意して、清く真面目に生きていたって起こってくるのだらうと思ひます。

痴呆に関して、昭和五十一年に東京都福祉局老人福祉課計画係が調べた発生率があります。これは男性と女性で極めて違いまして、六五・六九才の人で、男性の発生率は一・六パーセント。一〇〇才老人がいると、一・六人ということですね。女性はもっと少なくて、一・〇です。七〇・七四才になりますと、男性が三・六、女性が二・六です。だから七四才までは、男性の方がボケ発生率が高いんです。このあたりのところで、看病につくづく疲れ果てる妻が出てくるわけですね。

◎お部屋貸します◎  
新玉川線駒沢大学駅下車 徒歩十分。  
六畳・一畳台所・トイレ。二階。家賃  
三万五千円+雑費千円。銭湯近し。  
環境良好。子供のいる方は保育園の  
送り迎えもします。



特養はひと部屋4人（次頁参照）

七五才〜七九才の場合、男性の発生率三・七、女性は一・六です。八〇〜八四才になると、男性八・五、女性一六・一。八五才以上になると、男性一八・九、女性二六・九。八五才を過ぎると、女は四人に一人がボケが起るということです。ただ、これは今のおばあさんのケースです。今、中年期にいる私たちが、生き方を考え、自分の生き方を大事にしていけば、ボケの発生率も変わるんじゃないかという考え方もあります。

私は医者ではありませんので、医者の受け売りですが、ある病院のケースによると、ボケが一〇〇人いるとすると、六〇人は脳血管障害だそう。まず転んで骨折して寝たきりになったら、ボケが重なると思っていでしょう。つまり精神的な刺激がなくなるわけです。

これはある程度は落ち着かせたり、無くならせたりできるそうです。ですからまあ、期待は持てます。

それから一〇〇人のうち二四人は、アルツハイマー症のようなもの。これは脳の器官そのものが、細胞がポロポロはがれ落ちていくわけで、今の医学では対処の仕様がなれないといわれています。アルツハイマー症のような脳障害そのものに關しては、あと一五・六年たてば、希望が出てくるんじゃないですか、というドクターもいます。

残りの一六人が、どちらかちょっとわからない、医学的に診断できないという感じですよ。

寝たきりの発生率も大体五パーセント前後、ボケ発生率も平均四パーセント前後で、その推移は、寝たきりに關しても、女性は一七〇才を過ぎると男性より高くなるという感じがしています。

この数字を見て、皆さんに思っていたいただきたいのは、寝たきりになったらどうしようとか、ボケたらどうしようとか、そうそう心配する必要はないということです。一〇〇人のうち五人、一〇〇人のうち四人、計九人の内に入るかわからないかは、保証はないんですか



ひと月の行事予定（次頁参照）

ら、断固私は残りの九一人に入っているという自信を持っていてもいいと思うんです。

◆

九一人にはいるためのノウハウとして今、必要なのは、生きがいを持った生き方が、どこまでできるかということだと思わんです。

今、女性の状況を見ると、いわゆる女というものの、妻というものの社会通念の厳しさですね、女の生きがいを一番疎外しているのは。ですから、私は「職場で働くということとは差別と戦うことだ。女が生きていこうと思ったら世間と戦うことだ」この二つを胆に銘じて生きてきました。生きがいを求めていくという最終的な考え方

というのは、そういう戦いじゃないか、と思います。

よく働いている女性で、趣味がないとか、共働きをしている人は夫婦の会話がなにか、生きがいがなにかということ言います。けれども私は、中年期の夫婦は好き勝手やることがいいんじゃないかと思っています。ですから私は夫との関わりの中では「優しい無関心」——これはカミユの言葉ですが——で通しています。一切干渉しあわない。テレビは二台あって別々に見ている。語りたいた話に關しては、夫と話す。基本的には、そういう考え方をしています。そうしないと、自分の生きがいがなかなか発見できない。生きがいというのは、夫から賜るものではない、と思います。

◆

というわけで、経済、健康、生きがいと、三拍子そろって老後というのなかなか難しい。少しずつ中年期からの準備を、心の中にためておく。特に生きがいについてスタートするのは、六〇才からでいいと思います。ただ、経済と健康はできるだけ早い方がいい、というのが私の考えです。



特養老人ホーム「あしかり園」

# 老人ホーム見学

高齢化社会はもう目の前。自分は元氣だからと無関心ではいられません。ハンドの会員には高齢の母親との二人ぐらしで、働いて生活を支えながらの介護に身をすりへらしている人もいれば、一人ぐらしの老後に不安を感じている人もいます。

「みんなでマンションを売り払って女の家を作ってくらそう」と威勢のいい人もいますが、とりあえずは、老人ホームの見学をと、電話相談業務にも活かしたくて出かけました。

訪問したのは埼玉県飯能市にある社会福祉法人名栗園の、軽費老

人ホームシルバーハウス希望の園と特別養護老人ホームあしかり園の二園。軽費の方は各室七・五畳(六畳にキッチン付き)の個室で三食つき、門限もなく出入りは当然自由で、いわば隋いっきのアパート住まい。六組は夫婦で入所、一組は入所後結婚。親子や姉妹で入所のケースもあるそう。現在の入所者の平均年齢は七七歳。

入所時には足腰も衰え、日常生活全般にわたり何もしたくないという人は四階の居室を与えるそうです。というのは三食を食べる時と入浴時に、いやでも一日四回、四階から階段をのぼりおりしなければならぬ。それだけでも元氣になつてくるというのです。からだの心元氣回復のさまざまな工夫が配慮されています。

特養のほうも同じです。ほとんど自宅では寝たきりだった人もたいていホームでは起きあがれるようになり、徘徊癖のある人も治るそうです。それは強制して外に出さないという方法ではなく、日中たっぷり運動し遊ぶ相手をしてやれば疲れて眠れるからです。夜中に大声をはりあげ迷惑をかける人も添寝をしてあげること静かに

眠れるようになるとのこと。

こういう話を聞くと、自宅で十分介護をする人もいないでいるより、ホームに入れたほうがずっと幸せだと思えます。現に入所を待っている人は大変な数です。

軽費のほうで昼食をいただき、園長先生にお話を伺いましたが、老のまず一歩は、これまでやってきた洗濯とか調理とかをやりたいなくなる。そして「家事をしたくない」という長年の望みを叶えたとさらに老化が進むということ。参加者二四名、心しなければ(?)と聞きいりました。

老人ホームを見学して

T・K (六二歳)

老後?まだまだ先のこと...と他人事のように考えており、ふと気がついたらもう六二才。

昨年定年で退職し今は講師として働いています。子供(一人息子)は米国に留学中で一人住まいです。六月から三か月ほどホームステイの子があり、大変でしたが、帰国してしまつたらまたいつもの静けさだけが残つて穴があいたようなこの頃でした。九月に入って気持ち

を立てなおし忙しさに追われていますが働けるのもあと一、二年だと思います。

これから先のことについては以前から考え悩んでいました。本音は息子と一緒に暮らしたい。建て前はなるべく負担をかけたくない。この二つのことで心の葛藤を繰り返して来ましたが、でも、この頃の個人をとりまく世情や環境から同居よりむしろこのままの方がよいのではないかと考える様になりました。そんな時に骨折、三か月後に四十度の発熱等々困り果てたり、とても心細い思いをしました。この様なときアパートの一人暮らしでは...と新聞やテレビなどの暗いニュースが頭をかすめ、誰かがいたら、集団の中だったらと、真剣に考え続けていた矢先に、老人ホーム見学の記事が目にとまり渡りに舟と早速出かけました。

全般的なお話、見学、昼食のあと二人ずつに分かれて個人を訪問することになり、私たちはホーム創立当時に入園されたという女の方でした。きちんと整理された部屋へ案内され「私はここでの生活は長いですよ」と、カルピスを用意して下さいましたので、恐縮

しながらご馳走になりお話をうかがいました。

「今朝は雨の中でゲートボールをしてきたから大分ぬれたのよ。」

ベランダには上着とズボンが干してありました。散歩、習字、おどろきなどをして、時にはバスで買い物にも出かけるのが楽しみで健康のために出来る限り参加する様に心がけているとのことでした。娘さんの家に泊りに行っても一晩でホームへ帰りホッと落ち着くのだそうです。一緒に暮らそうと言ってくれて嬉しいけど現在の生活に満足しているので同居することは考えていないなども話されておりました。

ご主人に先立たれた定年まで働きホームに入り今は何の心配もなくしあわせいっぱいです、と温和な顔をほころばせて満足そうでした。なかなか出ない言葉だと思いました。ボケたことはない。健康でいたいというのが今の切実な願いなのだそうです。

最後に屋上へ案内していただき晴れた日には遠くに富士山も見え、自然にかこまれて良い所なのよと話されながらお別れしました。見送りながら後姿に安らかさ

を感じ、いつまでもお元気だと、つぶやきながら自分を反省しました。決断力に欠ける私にはとてもよい刺激でもあり、アドバイスでもあったのです。多種多様な施設の中から自分自身にあうところ、納得出来る方法を自分の足で調べ、確かめることが大事なことであることも経験を通して教えていただきました。

精神的にも身体的にも健康でありたいと改めて自分をみつめなおすことの出来た一日でもあり、また、老人ホームに対しての今までのイメージを切り替え新しい認識で体得出来たことが何よりの収穫でした。

#### ■老人ホームに勤めたい

(三八歳)

七月から都立板橋の専門学校（元職業訓練校）の、福祉ヘルパー科で学んでいます。六ヶ月の期間が終了したら、老人ホームの寮母を望んでいます。人をお世話するという事で、それに必要ならゆる事柄を学んでいます。学校には対象者がいません。対象者を知らなければ学ぶ意味もなく、問題意



補食をしてもらっている痴呆性老人

識を持つ事が出来ません。そういう訳と、私にも確実に老後はやって来るのです。今回、老人ホーム見学は、それらの事を含めて非常に意義ある一日でした。

最初特養ホームへ行きました。こちらは、寝たきりの老人と、痴呆性老人が、家庭で介護を受けられない人で、福祉事務所を通して入る施設ですが、起きられなかった人が、トイレへ行き食堂まで足を運び、自らの手で食事ができています。それまでになるには、施設で働く人達の努力がある事を知りました。もちろん本人の意志も必要です。それには、人間愛し

私は学校で介護の勉強もしていますが、はつきり思いました。それから、食後の一時を三人の娘達と過ごしているおばあちゃんがいきました。その姿は幸福に満ちていました。たとえ施設で人間愛があっても、肉親の愛に勝るものは、ないのですね。寮母になっても、この基本は忘れない様にしようと思に刻みしました。

軽費老人ホームは、個人と施設の契約で入所出来るホームです。各人のプライバシーが守られていて、個室で、食事だけが、全員一緒に食堂で食べます。

私が個室を訪ねた方は、九二才という高齢のおばあちゃん。

七二才の娘さんも、同じホームに親子で入居の方でした。若くてお元気で七〇才台にしか見えませんでした。もう大変喜んで下さって、八八才までは踊りをやっていました。写真や家族の事、ホームでの生活を思つて暇なくお話になりました。七二才の娘さんが、病弱の身で、それはもう心配ばかり、老いてもやっぱり母親なのです。このホームで友人が、一人、二人と去っていった事が、淋しいと言っていました。後髪引かれる思いで



握手をして、お別れして部屋を出たら、隣の方が「私のところもいらっしやるんでしょ？」と声をかけられ、集合時間が気になりながらも、断る事ができなくて訪ねました。ホームでは新しい方の様で、御主人が去って一人になったので、入所したという六四才のおばあちゃんでした。充分にお話を聞いて上げる事もできなくて、済まない事をしたと思っています。

勝手に他人の家へあがり込んでズカズカとみてまわった気がして、非常に心苦しい思いでしたが、九二才の元気なおばあちゃんを訪ねた後、追いかける様にして来て、「お便り下されば私も頑張って返事を書くからね！」と言われた事や、約束もない方から、「寄って！」と言われて救われた思いでした。

私達が老人世代になる頃、五人に一人は、老人であるという現実を考えて、老後の設計をしなければいけないし、どんな社会であってほしいか、訴えていかねばいけない。それには、いろんな事を、自分の目で見て知らなければいけない！と、痛切に感じたホーム見学でした。

# 離婚の前と後 読んでおくと役に立つ参考資料

参考資料を教えてほしいという手紙が時々きます。今回は円より子の本をご紹介します。

〔夫婦の問題で悩んだら〕

まず自分の心、自分の生き方を見つめ直すことが大切ではないでしょうか。相手さえ変えればと思うより、自分の気持ちを整理しましょう。そして自分のおかれている立場も知ることです。

●主婦症候群（文化出版局・九五〇円）

●愛に渴いた人々（白石書店・一三〇〇円）

●妻たちの静かな反乱（コンパニオン出版・一三〇〇円）

〔夫の心がわからない時〕

男と女の良い関係を望む時、男たちのおかれている状況に思いをはせる必要があります。そして私たち女にも過大の期待と甘えがあること、それが男と女の関係を疎外していることに気づくべきではないでしょうか。

●夫、あぶない（文化出版局・一三〇〇円）

〔子供は何を考えているのか〕

現在、離婚夫婦の七割に未成年の子供たちがいます。この子供たちのたった一割しか父親から養育費を受けとっていません。たぶん父親たちはさようならずら言わず別れていき、その後もほとんど連絡していないのでしょうか。

私たちの調査では、親権についてじっくり話しあい、養育費についても家裁の調停までもっていても取り決めた人たちは七割以上が養育費が約束通り支払われていません。そのうえ、父親と子供が会っているケースでは養育費の支払率は大変高くなっています。

私たちはお金のことだけでなく、子供にしておくべき配慮があります。そして子供たちは何を望んでいるか、子供を離婚の弊害から守るためにぜひ読んでください。

●ママ、笑ってごらん（文藝春秋・七二〇円）

●離婚の子供レポート（フジタ・一五〇〇円）

●子供が書いた離婚の本（翻訳・コンパニオン出版・一五〇〇円）

〔楽しい母子家庭のために〕  
離婚後、子供たちが明るく健やかに成長できるかどうか、それは

母親の態度いかんにかかっています。離婚を後悔しない生き方を。

●円テーブルの家族（文化出版局・九五〇円）

〔離婚を上手に乗りきるために〕

離婚に直面したら誰だって悩みます。揺れ動きます。何から手をつけていいかわからない。不安ばかり押しよせて、別れたいと思っている人でも大変。ましてや夫から切りだされたらパニックです。

まず離婚するとうなるのか。どんな準備が必要なのか。そのあたりのことがわかっていれば、どちらに決めるかも目途が立つでしょう。とにかく知識もなく不安がついてしまったがありません。

●離婚を考えたら読む本（日本実業出版・六八〇円）

●よくわかる離婚講座 一問一答（合同出版・九八〇円）



¥720

¥1500





第四〇回 横浜市・Nさん  
家族構成

私 三八歳(事務)  
長男 一五歳  
父 七四歳  
母 六九歳

早いもので現在中学三年生の男子と、私の両親の四人家族になって十一年の歳月が流れようとしております。当時四才になったばかりの我が子を抱え、これからどうこの子を育てたら良いのかと、あの時の不安、苦しみは今も胸に克明に刻みこまれています。

でも案ずるよりは何とかで、周りの皆様に良くしていただき、両親とも共に生活できました御陰で、今は生意気盛りの十五才、時にはオヤツと思う程、頼もしく感じる時さえあります。

仕事の方も、決して満足のいく

## 家計簿内訳

[収入]		
給料		130,000
児童扶養手当		33,000
		163,000

(ガソリン代別途支給 7,000)

児童扶養手当はS62. 8迄  
次回より減額の予定です。

[支出]		
食費		40,000
生活・外食費		12,200
医療・衛生		3,000
教育・教養		28,810
被服・その他		18,670
交際費		14,620
雑費		10,460
預金		10,000
		137,760
残		25,240

収入ではありませんが、覚えたかったコンピュータの仕事である事、家から車で五分と近くである事、昼休みや、授業参観、母の通院等には、気持ち良く帰らせていただけるなど、ゼいたくさえないなければ何とかやっております。

食費は少ないですが、別に家計を設け、父母からの預り金の中にたしております。生活・外食費は、シートとか子供のハンバーガー代、私のたまに友人との昼食代等です。教育費は子供の塾、私の月謝、本代なども含みます。被服費は修学旅行が入った為、いくぶんかさ

でいます。美容院は趣味と実益を兼ねて、ホームバーマで済ませています。その他、生命保険や、車、維持費(ゼいたくの様ですが、通勤、母の通院等、生活の一部になっています)に年間五十万程かかりますが、ボーナスをあて半年払いにし、割引を利用しています。

養育費は、あまりあてになりませんので、入った時は、ないものとして貯金にまわしております。長かった別居生活にやっとピリオドを打ち、一年前に正式離婚、それまであまりに夢中に過した年月でしたが、近頃やっと花の美しさ



会員のお子さん(T君・小五)の絵

にも心が動かせる日々にもどれました。  
人生、思いもかけない事に遭遇する事もありますが、運命に流されるだけでなく、自分なりの人生を歩まなければと、書道と肖像画を習い始め、現在書道は四段に、肖像画も、たまに人に頼まれてかいております。  
幸福になるのも、不幸に泣くのも、自分の責任、頑張らなければ、と自分に言い聞かせ、太陽に向けて伸びるヒマワリのように、一歩でも、二歩でも前進できますように、と心に期している毎日です。

ハンド・イン・ハンドは、みなさんがつくる雑誌です。

みなさんの日常考えていることや、生活の匂いが伝わってくるような、そんなハンド・イン・ハンドでありたいと思います。お便りをどうぞお寄せください。

オーバーホールの時期？

大阪府・ (四二歳)

元気で頑張っておりますが、娘が高校に入学した途端、生活が乱れ出し全く勉強をしなくなり、種々問題を起こして困っております。警察・家庭裁判所・学校へと、親として申しひらきの出来ない状況を余儀なくされています。何が間違っていたのか、今までの自信がぐらつき私自身の生き方をふりかえって必要性を感じております。

前ばかり見て必死に生きてきましたので、少し足踏みをしてオーバーホールも良いかもしれません。今度お便りする時は、良い話となるよう私なりに頑張ります。明るい母子家庭

青森県・ (三二歳)

離婚して四ヶ月。諸手続き、引越、ツベルクリン反応、その他。田舎町のこと故、役場へ行っても裁判所へ行っても、知っている顔ばかりで、私が離婚して実家

へ帰ったというウワサは、あつという間に知れ渡ってしまった、会う人毎に、いろいろと探りをいれられウンザリでした。どうして別れたのか子供はどうしたのか。元・夫が俗に言う良い人なので、私のわがままのせいでと笑って説明すると、そんな私をけなげだという口調で「まあダメなものなら早く別れた方がいいわよ」「がんばるなさいよ」と、慰めてくれる人の多いこと。そのくせ、そう言った人たちがほかの人に「あの人はわがままだから」とかしやべっているのが、耳に入ってきた時の腹立たしさ。「子供が可愛想よね」とか言われるとますます腹が立ちます。でも、腹が立ったのは初めの二ヶ月くらいで、今はもう「勝手にしやべろ」という心境です。今は何か言われても「ええ、うちは今明るい母子家庭ですからオホッホ」と笑いとばしています。これというのも、円さんの本にめぐりあってから一年以上の間、考えに考え

ぬいて自分で選んだ道なんだ！という自覚があるからでしょう。円さんのことやハンドのことを知らなかったら、おそらく今頃まだ目尻をつり上げてキイキイと結婚生活を続けていたと思います。子供のため、子供のため……って念仏のように唱えながら、毎日毎日、心を仮死状態にして……

ですから今、円さんやハンドの関係者の皆さんに本当に感謝しています。私自身は、自分で選んだ離婚というこの状態を楽しまなければ損だ……みたいな気持ちがありますが、こと子供のことになると、いろいろ心が揺れ動きますね。先日父の日のお絵描きで、娘が、「おじちゃん顔」と書いた絵を持って帰ってきた時には、胸が痛みました。今はまだ二歳六ヶ月と小さいので、自分の状態が良く理解できないと思いますが、これからだんだん大きくなっていろいろなことがわかってくると、やっぱり大変だろうと思います。それでもゴメンネというよりは、ガンバレという気持ちで見守ってやりたいと思っています。七三号のこどもの絵と心の発達のところに、子供にとっては一緒にいて気持ちのいい

い大人がそばに居てやれば、放っておいても育つとありましたが、なんとなく元気づけられました。母親がいきいきと生活していれば子供もそれなりに育ってくれるだろうと期待しています。

別居中の私にアドバイスを

福井市・K (三〇歳)

私は三十歳になる二児の主婦です。一昨年の夏に別居して、いまだに離婚できず困っています。別居の原因は主人のギャンブル癖です。サラ金で借りまくり、しかも会社のお金にまで手をだしてしまつたので、私には全く信じられない事でした。調停に持ち込んだのですが、主人の絶対に別れないという強い一貫した反対にあい離婚は成立しませんでした。そして現在、一人の息子を主人の所に置いてきているということも手伝って私は非常に迷っています。迷いというのは、

1、泣く泣く置いてきた息子が（現在主人の母が養育）周囲が甘やかす為、自立心のない弱い子にならないか  
2、事務くらいしかできない私が子供を立派な一人前にできるか  
3、主人への未練



以上のことです。子供にとって母親は世界でただ一人、そして父親もただ一人なのです。しかし、それにもまして私の人生というのもただ一度きりなのです。よりを戻しても主人のギャンブル癖は絶対に直るものでもないと思います。

三番目に主人への未練と書きましたが、主人は一人っ子で甘やかされて育てられたせいか、マザコンの典型ともいえる人でした。とにかく自立心のない、親に頼り切っている人ですからもう絶望的です。息子は主人がすごくかわいがっていますし、私の経済力の事も考えて兄弟が別々という悲しい選択をしています。とにかくここにへんで、私自身の為、かわいい子供の為にもはっきりしたいとおもいますので、何か良いアドバイスがありましたらどうか宜しくお願ひいたします。

東京都・I(五一歳)

私は今別居中です。『今日から帰らないよ』と私の勤務先に夕方電話が入り、昨年の十月始めに主人は家を出ていきました。愛人が出来、子供が出来たのです。子供はいませんが私達は仲の良い夫婦で

した。二人で共通の趣味を持ち、買物でも旅行でもいつも一緒でした。結婚十三年で海外旅行に十三回行きました。私は相談する人もいませんので、区役所の福祉事務所に行き、私の方から家庭裁判所に夫婦関係の調停申し立てをし、三回行きましたが、不調に終わりました。

私達には子供がおりません。私も主人もすごくほしかったのですが、私が死産、流産と悲しい思いを致しました。主人はそんな私にどんなことがあっても、私と添えとげたいと言っていましたのに、信じられない気持ちです。私が会社に行っている間に主人は部屋に時々入っているようです。冷蔵庫や電子レンジが新しくなっていました、冷蔵庫にアイスクリームが入っていました。そんな時、私はよけい悲しくなるのです。これはなんなんだろうと思うのです。



Hちゃん(小三)の絵

あきらめの境地

大阪市・M(四〇代)

何時も何かとお世話になり有難う存じます。皆様方や投書の方々の活躍や悩み等、色々の事で今迄どんなにか気持ちをお救われた事でしょう。別居して七年が経ちますが、何の進展もなく、年齢のせいでしょうか、この頃では日々の生活に追われるだけが精一杯で、もう戦う事が出来なくなってあきらめの境地です。昨秋待ちに待った府営住宅が当たり、夢かとばかり喜んだのも束の間、別居している為にダメになりました。一時何をする気も失せました。

毎月毎月送って頂くハンド・イン・ハンドを楽しみにはして居りますが、これも大勢の人の決して豊かでない費用から作り出されているのです。私は生活するのも大変だからと言って甘んじては居られません。今暫らくお断わりいたしたく存じます。今迄の御好意とでもとても感謝いたして居ります。皆様のお幸せをお祈り致して居ります。

(編集部から)誌上に載せた手紙に対する感想やアドバイスをお待ちしています。



※事務局便り※

■苦手な夏も終り、そろそろ動き出そうかなと思っている私です。先日、研修会で私の叔母と同級生という方に出会いました。話をしてみると世の中広いようで狭く、次はどんな人と出会えるのか楽しみです。

(M)

■不規則な生活が原因か、十二時にベッドに入っても、延々四時五時まで眠れない…。これはお肌の大敵！何とかしようと、近所の薬屋さんに漢方薬を買いました。飲んでその日から、八時間ぐっすり。漢方薬のおかげというよりも、私は暗示にかかりやすい、とわかりました (有賀)

■九月二日の最高裁判決のせいで、連日取材攻めの超多忙の日々を過しています。その中で、再婚した人々に話をうかがい、十一月出版予定の単行本を書いています。二人ずつ子供を迎えて再婚し、一挙に六人家族になった人などにぎやかで楽しい大家族も。みなさんも元気にがんばりましょう。

(円)



第九〇回ニコニコ離婚講座

十月三十一日(土) 午後一時半～四時半。日本社会事業大学地下〇一教室(JR原宿駅下車徒歩五分、東郷神社隣) 齊藤茂男氏(共同通信編集委員)による「妻たちの思秋期」の講演と金住典子弁護士「離婚に必要な法律と知識」となてもどうぞ。参加費一五〇〇円。要予約。

☎〇三ー四〇二ー七三五四

大阪のニコニコ離婚講座

十月二一日(水) 午後一時半～大阪府情報文化センターのホール。円より子が久しぶりに参加。「離婚で困らない十ヶ条」を話します。当日、直接会場において下さい。

会合のお知らせ

★東京の会合 十月十八日(日) 三浦海岸へいも掘りとオリエンテeringに行きます。雨天中止。

詳細や予約は十六日までに四〇二ー七三五四へ。小学生・中学生の参加、大人だけの参加歓迎。

★横浜の会合

今月は、東京の会合と合同です。参加希望者は前日までに予約を。

—他の地域の連絡先—

★大阪

■円より子・松尾道子弁護士らのシンポジウムにご参加を!

大阪及び関西地区の方々、ぜひいらしてください。憲法四〇周年

を記念しての大阪弁護士会のシンポジウムで離婚の問題を話しあいます。十月三日(土) 午後二時～四時。大阪弁護士会館ホールにて。詳細は同封のチラシで。松尾弁護士が企画したものです。大勢参加して、離婚パワーを盛りあげましょう。

■先月号のアンケートについて  
忘れず返送してくださいね!

九月十日現在で約二百通が返送されています。住所やTELを載せていいという積極派と、名前も困るという慎重派とが全く半々です。

中に、「アンケートの返事がない時は了解されたものとして、氏名と住所を載せるというのは無謀すぎないか」という意見が一通ありました。重々こちらも承知しています。アンケートを書いてもらうための苦肉の策ですが、やはり返事がはかばかしくありません。みなさん見忘れてませんか。もう一度、先月号を見て、ぜひアンケート出して下さいね。住所等、載せないでというのは必ず守ります。載せたくないという返事が多ければ、名簿見送りも考えています。

購読料について



現在つぎの三通りの方法をとらせていただいています。

- ① 一年間三〇〇〇円(送料共)
- ② 二年間まとめて前払いしてくださる方には、二年分、六〇〇〇円のところを五〇〇〇円に。
- ③ 出世払いもしくは免除

どうしても苦しい方は、いつでも遠慮なく申し出てください。それぞれ出費が多く大変ですが、期限切れの通知の入った方、またはこの折りにという方いづれもご都合のよい方法でどうぞ。

(振込先) 各地の郵便局  
東京一四ー二二〇五四二  
ハンド・イン・ハンドの会